

【生薬名】 蘇葉 *PERILLAE HERBA*

【起源植物】 チリメンジソ *Perilla frutescens var. crispata*



【科名】 シソ科 *Labiatae*

【別名】 蘇、水蘇、赤蘇、山魚蘇、白魚蘇、水荳元

【薬用部分】 全草(蘇葉)、茎は蘇梗ソウと言うが蘇葉にも一部混入

【主成分】 精油(ペリアルデヒド)・アントシアニン色素、シアニジン・ペリラニン、

【薬性】 蘇葉 気味は辛温、帰経は肺脾に属す

【効能】 ●発汗解表・行気寛中・解魚蟹毒

●蘇葉6~10gを煎服、風邪、発汗、鎮咳、利尿、防腐殺菌

●漢方では気鬱を散じて気の流れをよくする目的で使われる

●小匙1杯の葉及び種子を振り出しで服用、魚中毒、鎮咳、去痰

●咽喉炎や口内炎、口臭には蘇葉や紫蘇子の煎液でうがいをする。

●食欲不振や健胃、整腸、食中毒、咳。鎮静、免疫賦活、抗菌作用。発汗、解熱効果。

●切り傷の止血には蘇葉の乾燥粉末を傷口に振りかける。

●冷え性、神経痛や腰痛等に浴湯料として用いる

●食欲不振、冷え性、疲労回復等、風邪や発汗に薬用酒を飲む
生の蘇葉300g^ア、サトウ1.8ℓでつけこむ

【出典】 ●紫蘇 味辛、風寒発表、諸気を梗下し脹満を消除す。(薬性歌)

●解肌薄品、稍行気、利膈。(一本堂薬選)

●味辛温、所謂気剂として用ひらる。鬱気発散するの効あり。その他蟹の毒を解く特性あり。(新古方薬囊)

【備考】 ●薬用はチリメンジソ、カタメンジソ、赤ジソで、青じそは食用

●シソエキスに抗アレルギー作用があることが最近確かめられた

●蓬萊蘇葉はペリアルデヒドの含有量が多種に比べ圧倒的に高い

【処方例】 ●半夏厚朴湯、香蘇散、神秘湯、杏蘇散、参蘇飲